

事業所における自己評価結果・公表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7		・バリアフリーではない ・子どもに合わせた部屋の設定を行っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1	・毎日の清掃、定期的な床掃除を行っている 指摘いただいた清掃箇所についても早急に対策を行っている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7		・月1回程度のプログラム調整の際には担当間ミーティングを実施 ・随時、必要に応じたミーティング ・毎月事業所としての目標と振り返りも実施
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		・昨年度の評価をもとに衛生面の強化を図った ・昨年度のアンケート結果をふまえた業務の見直しを行った
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	・昨年度の意見を共有し、真摯にむきあった
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	5	・第三者による外部評価を行っているか知らない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	・会社から機会を確保してきているとは思えない ・外部講師を招いたりなど自己研鑽の機会はある
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	・他機関との連携でアセスメント内容の共有や見学などを必要に応じて行い、日常環境における適応行動をアセスメントしている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		・個別に実施している
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		・個別に実施している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	1	・集団活動に関しては実施が少ないケースもある ・小集団での活動を行っているケースもある
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		・グループ等行う際は、行う時間・内容等確認している ・朝礼を行い、業務の見直し・事故防止に取り組んでいる(複数回答)
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	・連絡ノートで共有ができていない ・適宜ミーティングを行っている ・終礼の実施
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		・記録は各目標ごとに行動測定を行い記録をもとにした意思決定を重視している
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		・実施頻度は少ない ・必要に応じ、プログラミング担当が行うようになっている
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	2	
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		・相互見学や必要に応じて面談を実施
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	2	・就学支援シートの活用
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	・市の研修の機会を告知している ・あおぞらキッズ主催の研修への派遣
	26	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	5	・市川市障害児通所支援事業連絡会への話題提供(6月15日)
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		・SV予定を告知し、時間を作り共有している
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	7		
保護者への説明責任等	29	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		・見学时・契約時に実施
	30	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		
	31	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	5	・ペアレントトレーニングの際に保護者同士の交流の時間をもった待合スペースを設け、自主的な交流が生じやすい環境を設定した
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		・苦情受付窓口を常時開設している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	6	・会報ではないが、手紙や掲示等で情報発信できている
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1	・保護者に周知できていないものもある
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		・年に2回実施
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		・フェイスシートの活用
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		・終礼時や、回覧板を用いて共有
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	3	新人研修では実施している

42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		
----	---	---	--	--

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表：令和 2 年 3 月 24 日

事業所名： 発達療育 レンテ市川
 合 66.6 %

保護者等数 (児童数) 18 家庭 回収数 12 割合

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12				・部屋が広くてとても良いです
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	11			1	・誰が何の資格を持っているのかがよくわかりません
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、情報伝達等への配慮が適切になされているか	11			1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12				
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	10	1		1	・非常に的確に課題を設定、計画をたてていただいています
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11			1	・相談した内容をすぐに取り入れて指導計画に盛り込んでいただいたり、また一人の方にご相談した内容がすべての方に共有していただいていたりととてもありがたいです
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	1			
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	9	2		1	
	9	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12				
	10	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12				
	11	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	9	3			・積極的にペアトレに取り組んでくださっていると思います
	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12				

保護者への説明等	13	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1			・月1でSVと話す機会をフィードバックとは別に設けていただけたのがありがたいです	
	14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	6	1	・特にそうした場はありませんが、お会いすれば立ち話程度できる雰囲気はあります	
	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	2				
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	1				
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	2			6	
	18	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	11	1				
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	11	1			・ちゃんと避難訓練を実際に行っているのにびっくりしました	
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12					
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	11			1	・行きたがって困るほど大好きです	
	22	事業所の支援に満足しているか		12			・レンテのおかげでここまで成長できたと思います 感謝しきりです	

職員による自己評価

A環境面

- ・部屋の環境はお子様に合わせて個別に設定している
- ・清掃は毎日の清掃と定期的な床掃除を習慣的に行っている
- ・ご指摘いただいた点は真摯に受け止め、早急な対策を行った

B児童への支援内容

- ・チームでの立案、情報共有から計画を立て支援を行っている
- ・集団活動を行うケースもある
- ・他機関との連携でアセスメント内容の共有や見学を実施している

C関係機関との連携

- ・就学時の移行支援として引継ぎ書類の記入を行っている
- ・必要に応じて、関係機関への見学や面談を実施した
- ・市の療育機関の研修に参加している

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・契約時の説明
- ・SV予定を事前告知し、時間を作って相互に情報共有を行っている
- ・ペアレントトレーニングの実施
- ・父母会や保護者会の実施はないが、ペアレントトレーニングの前後に保護者同士のお話しができる時間を設けたり、待合スペースを設け自主的な交流が生じやすい環境を設定した
- ・苦情受付窓口を常時開設している

E非常対応

- ・多くの方に避難訓練に参加いただけた
- ・虐待に特化した研修は行っていないが、朝礼・終礼・回覧板・ミーティングなどで情報共有を行っている
- ・緊急時マニュアルを整備しているが保護者への周知は課題

保護者による評価

A環境面

- ・部屋が広くて良い
- ・誰が何の資格を持っているのかがわからない

B児童への支援内容

- ・課題設定が的確にできている
- ・相談内容を取り入れた指導計画の作成や一人のセラピストに相談した内容が他セラピストにも共有できている点が良い
- ・ペアレントトレーニングの実施

C事業所からの情報発信

- ・月1でSVと話す機会がある
- ・保護者会等はないが、立ち話程度できる雰囲気はある

D非常対応

- ・避難訓練を実際に行っている

事業所内での分析

【共通点】

- ・直接サービスにおいて方向性に統一感がある
- ・衛生面での事業所の努力は一定の評価が得られている
- ・ペアレントトレーニング、SV時間等力を入れている部分についてポジティブなフィードバックをいただけた
- ・事業所からの情報発信の機会が少ない
- ・保護者同士の交流が少ない

【相違点】

- ・職員の専門性についての説明が不足している

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・個別において直接的な行動アプローチができている
- ・小規模施設だからこそ、保護者との距離が近くコミュニケーションがとりやすくご意見もいただきやすい
- ・職員の専門性・適切な環境
- ・事業所内での工夫や努力がご家族に届き、評価いただけている
- ・プログラムや計画・支援の内容・情報共有について一定の評価をいただけている
- ・お子様が楽しんで通所してくださっている
- ・今期、ペアレントトレーニングや保護者支援の拡張を試み一定の評価をいただいている

事業所の改善点

- ・利用者同士の連携支援が弱い
- ・活動プログラムに関してよりわかりやすい説明が必要
- ・ペアレントトレーニングの内容・保護者支援の拡張についてはさらなる検討・改善が必要
- ・関係機関との連携の強化が必要
- ・プログラム内容の更新と共有をよりシステム化し継続的にPDCAサイクルが回るようにしたい

事業所の改善への取り組み

- ・利用者同士の連携を支援する
- ・お子様に対してできることを個別のニーズに応じて支援していく
- ・職員の専門性・清潔な環境の維持
- ・外部機関との連携強化
- ・レンテからの情報を適宜発信していく方法を検討する
- ・保育所等訪問支援などを活用し、地域や関係機関との連携強化
- ・今後もケースミーティングを適宜実施しペアレントトレーニングにも力をいれてより一層保護者の方との共通理解・適切な療育を目指す

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

本事業所についてのアンケートにご記入くださりありがとうございます

このような機会をいただけたことに職員一同感謝しております。

レンテのサービスに概ねご理解いただけている結果となり大変ありがたく感じています。YES/NOのご回答だけでなく、コメントでの回答もいただけるよう、ご家族との協同作業をさらに深めていけるよう努力する所存です。アンケート機会以外でもいつでも気兼ねなくご意見がいただけるような関係づくりに努めていきます。日々の療育や事業所の環境に関して保護者の方々からのご意見をいただき、事業所全体の取り組みに関して考えるよい機会になりました。

今後ともさらに努力を重ねて参ります。

事業所名 発達療育 レンテ市川
担当者 松田 あゆみ